

*米国本社リリース参考訳

*公式リリースは[P & G米国本社サイト](#)をご覧ください。

P & G 2021/22 事業年度 第2四半期(10-12月期)業績

第2四半期米国会計基準：純売上高6%増、希薄化後1株当たり純利益は13%増

第2四半期中核業績：本源的売上高6%増、1株当たり中核利益は1%増

2022事業年度通期の売上高とキャッシュフローの見通しを上方修正、1株当たり利益の見通しは維持

2022年1月19日 米国シンシナティ発

ザ・プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー(NYSE:PG)は、2022事業年度第2四半期の純売上高が、前年同期比6%増の210億ドルであったと発表しました。また、為替レートと事業の買収・売却の影響を除いた本源的売上高も、6%増加しました。希薄化後1株当たり純利益は、前年同期の報告書上の1株当たり利益に対して13%増加し、前年同期の1株当たり中核利益に対し1%増加して1.66ドルになりました。

当四半期の営業活動によるキャッシュフローは51億ドルで、調整済フリーキャッシュフロー生産性は106%でした。当社は、20億ドルの配当金、約50億ドルの自社普通株式の買い戻しにより、合計70億ドル近くを株主の皆様へ還元しました。

単位：十億ドル、ただし1株当たりの数値を除く

第2四半期(10-12月期)							
米国会計基準	2022年度	2021年度	%増減	会計基準外*	2022年度	2021年度	%増減
純売上高	\$21.0	\$19.7	6%	本源的売上高	—	—	6%
希薄化後1株当たり利益	\$1.66	\$1.47	13%	1株当たり中核利益	\$1.66	\$1.64	1%

* 定義と、その関連のある米国会計基準上の指標との差異説明は、添付書類1：米国会計原則で規定されない財務指標をご参照ください。

社長兼最高経営責任者(CEO)ジョン・モラーは、「P & Gは、大幅なコスト上昇の逆風に直面している中、力強い売上高とそれに続く利益の成長を達成しました。これらの業績を通して、利益の予想を達成し、売上高、キャッシュフロー生産性、株主の皆様へのキャッシュ還元の見通しの上方修正に向けて、引き続き順調に推移しています。当社は、製品の優位性、生産性の向上、建設的な中断、継続的なP & Gの組織と企業文化の革新を続けるという戦略に、引き続き焦点をあてていきます。これらの戦略を通して、当社は力強い勢いを築き上げ、維持することが可能になります。これらは、バランスの取れた成長を達成し、付加価値を生み出すために正しい戦略です」と述べています。

10-12月期について

2022事業年度第2四半期の純売上高は、前年同期比6%増の210億ドルでした。また、事業の買収・売却の影響と為替レートの影響を除いた本源的売上高も、6%増加しました。本源的売上高の増加は、本源的販売数量の3%増、および、激しいコモディティコストの上昇とその他のコストの上昇の相殺に寄与

する価格改定の3%増の恩恵により、もたらされました。ミックスは純売上高の成長に対して影響がありませんでした。

2021年10-12月期	販売	為替	価格			純売上高	本源的	本源的
純売上高増減要因(1)	数量	レート	改定	ミックス	その他(2)		販売量	売上高
ビューティー事業	1%	1%	2%	-1%	—%	3%	1%	2%
グルーミング事業	1%	-1%	4%	1%	-1%	4%	1%	5%
ヘルスケア事業	4%	—%	1%	3%	—%	8%	4%	8%
ファブリック& ホームケア事業	7%	-1%	2%	-1%	—%	7%	7%	8%
ベビー、フェミニン& ファミリーケア事業	1%	—%	3%	1%	—%	5%	1%	5%
P & G 全体	3%	—%	3%	—%	—%	6%	3%	6%

(1) これらの純売上高に係る増減割合は、継続的に適用している計算方法に基づく概算値です。

(2) その他には事業の買収・売却による売上ミックスの影響、販売数量と純売上高との差異分析に欠かせない端数処理が含まれています。

- ビューティー事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ2%成長しました。スキン&パーソナルケア部門の本源的売上高は、主として、製品革新に起因するパーソナルケア事業での販売数量の増加、市場の成長、ならびに、価格改定が寄与し、不利な製品ミックスで一部相殺されて、一桁台前半の成長でした。ヘアケア部門の本源的売上高は、主に価格改定により、一桁台前半の成長でした。
- グルーミング事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ5%増加しました。カミソリ・替刃部門の本源的売上高は、主に販売数量の増加、価格設定の見直し、先進市場での成長からもたらされた有利な製品ミックスと地域ミックスにより、一桁台半ばの成長となりました。電化製品部門の本源的売上高は、価格設定の見直し、および、プレミアムな電気シェーバーと電気スタイリング機器の成長に起因する有利なミックスにより、一桁台半ばの増加となりました。これは、前年同期に、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行のための巣ごもり需要で、家庭内での電気シェーバーと電気スタイリング機器の消費が急激に高まった反動による販売数量の減少により、一部相殺されました。
- ヘルスケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ8%増加しました。オーラルケア部門の本源的売上高は、プレミアムな歯磨き粉とホワイトニング製品の占める割合が高まったことによる有利なミックス、ならびに、製品革新に起因する価格改定により、一桁台前半の増加となりました。パーソナルヘルスケア部門の本源的売上高は、主により強力な風邪やインフルエンザの季節に向けての呼吸器用製品の成長により、売上高が前年同期と比べ約20%増加しました。当四半期の各地域のパーソナルヘルスケア部門は、二桁台の本源的売上高を達成しました。
- ファブリック&ホームケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ8%増加しました。ファブリックケア部門の本源的売上高は、個別包装タイプの洗濯用洗剤ジェルボールと柔軟剤の力強い成長にけん引され、二桁台の増加となりました。ホームケア部門の本源的売上高は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行のための巣ごもり需要で、家庭内での家庭用洗剤の消費の高まりに恩

恵を受けた前年同期と比べ、価格改定、ならびに製品革新による販売数量の増加により前年同期に対して一桁台前半の増加となりました。

- ベビー、フェミニン&ファミリーケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ5%成長しました。ベビーケア部門の本源的売上高は、価格改定、市場の成長、ならびに、プレミアムラインのテープタイプとパンツタイプの紙おむつの成長からもたらされた有利な製品ミックスにより、一桁台後半の増加となりました。フェミニンケア部門の本源的売上高は、コモディティコストに基づく価格改定、製品革新、ならびに有利な地域ミックスと製品ミックスにより、二桁台の増加となりました。ファミリーケア部門の本源的売上高は、価格改定が不利なミックス、および前年同期の新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に関連した消費の拡大の反動による販売数量の減少で相殺され、前年同期と同水準でした。

2022 事業年度通期の見通し

P & Gは、2022 事業年度通期の純売上高が前年度比 2~4%の範囲で増加するとしていた見込みを 3~4%に上方修正しました。また、当社は、本源的売上高が前年度比 2~4%の範囲で増加するとしていた見込みも 4~5%に上方修正しました。為替レートは、当事業年度通期の純売上高の増加に対し、1%の悪影響を及ぼすものと現在予想されます。

P & Gについて

P & Gは、高い信頼と優れた品質で、市場をリードする製品ブランドを世界中の人々にお届けしています。それらのブランドには、オールウェイズ®、アンビピュア®、アリエール®、バウンティ®、シャーマン®、クレスト®、ドーン®、ダウニー®、フェアリー®、ファブリーズ®、ゲイン®、ジレット®、ヘッド&ショルダーズ®、レノア®、オレイ®、オーラルB®、パンパース®、パンテーン®、SK-II®、タイド®、ヴィックス®、ウイパー®などが含まれます。P & Gは約 70 カ国に現地事業拠点を置き、世界的に事業を展開しています。P & Gとその製品について、最新の詳しい情報は、米国本社ホームページ <https://us.pg.com> (英語) をご参照ください。その他の P & G のニュースについては、<https://us.pg.com/blogs/> (英語) をご参照ください。